

研究課題名「出生前診断が消化管閉鎖症および腹壁疾患の予後に与える影響に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2007年1月1日～2017年12月31日に当院NICUに入院し、食道閉鎖、腸閉鎖、鎖肛、腹壁破裂、臍帯ヘルニアのいずれかの診断で手術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：出生前診断が消化管閉鎖症、腹壁疾患の予後に与える影響を明らかにする。

方法：それぞれの疾患の対象者を出生前診断の有無で2つの群に分け、治療経過に関する項目について比較検討する。

期間：実施承認日から2020年3月31日まで

研究組織：

1 研究代表者・研究責任者（所属・職名・氏名）

総合周産期母子医療センター 新生児部門 病院助教 田中亮

2 研究分担者（所属・職名・氏名）

総合周産期母子医療センター 新生児部門 特任助教 伊藤美春

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：出生時の体格、入院中の栄養の方法や量、体重の増減、手術を行った日齢と手術方法、手術後の経過、入院した期間、入院中の合併症、退院後の発育、発達状況 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-744-2294

担当者：名古屋大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター新生児部門

田中亮（研究代表者・研究責任者）